

授業科目名： 日本史Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目（高校地歴） 選択科目（中学社会）	単位数： 2単位	担当教員名： 堀川 徹 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 地理歴史）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・日本史・外国史 ・日本史		
「学位授与の方針」との関係  DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標  【授業のテーマ】 高等学校の地理歴史科の教員を目指す者が、日本史（近世から現代）を多角的に学び、基礎的な知識及び知識を得るための方法論を修得する。  【到達目標】 ・近世から現代までの日本史の大まかな流れを説明できる。 ・日本史（近世から現代）に関する歴史的事項を多角的に理解し、説明することができる。 ・日本列島のみならず、周辺地域との関連のなかで日本史（近世から現代）を理解し、説明することができる。 ・問題意識をもって、自ら主体的に学ぶことができる。 ・歴史的事項の因果関係・相関関係について理解し、説明することができる。			
授業の概要  日本史（近世から現代）について、周辺地域との関りに留意しながら概観する。単に歴史的事項の羅列にとどまらず、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目する。			
授業計画  第1回：近世という時代・織豊政権—テキスト①1章・2章— 第2回：幕藩体制の成立と朝廷—テキスト①3章～5章— 第3回：近世の対外関係—テキスト①6章～8章— 第4回：東アジアの「首都」と日本列島の町—テキスト①9章・10章— 第5回：大坂における非人集団—テキスト①11章・12章— 第6回：近世の村の形成と身分的周縁—テキスト①13章・14章— 第7回：近世の村—テキスト①15章～17章— 第8回：近世の流通と経済—テキスト①18章～20章— 第9回：近代の国際化—テキスト②1章・2章— 第10回：近代の対外関係—テキスト②3章～5章— 第11回：条約改正と憲法発布—テキスト②6章・7章— 第12回：日清・日露戦争と日本の植民地政策—テキスト②8章～10章— 第13回：デモクラシーと国際協調—テキスト②11章～13章— 第14回：近代の経済外交と経済政策論争—テキスト②14章・15章— 第15回：戦時から戦後へ—テキスト②16章～20章— 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト  ①杉森哲也編（2016）『大学の日本史 3. 近世』山川出版社、978-4-634-60033-1 ②小風秀雅編（2016）『大学の日本史 4. 近代』山川出版社、978-4-634-60034-8			
参考書・参考資料等  岩波新書 シリーズ日本近世史（全5冊） 岩波新書 シリーズ日本近現代史（全10冊） ちくま新書 歴史講義シリーズ			
学生に対する評価  レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			